

5 本時の学習（15時間取り扱い 本時 10/15）

(1) 目標 大男に立ち向かうえっちゃんの様子や気持ちを想像して、音読することができる。

(2) 展開

過程	学習活動	時間	○主な発問 ・指示 ◇予想される児童の反応	指導上の留意点と評価	備考
つかむ	1 5の場面を音読し、えっちゃんの様子にサイドラインを引く。【一斉】	10	○読み方を工夫できるころはどこかな。 ◇「あたしは帰らないわ…」 ◇「食べるなら食べなさい…」 ◇「あたしのぼうしをかえしなさい。」	・怒っているときの読み方（声の大きさ・強さ）を全体でおさえる。 ・どの台詞もすべて同じ声の大きさ・強さで読むのかどうか考えさせる。	・本文
	2 めあてを知る。				
めあて えっちゃんの怒っている気持ちか1ばん伝わる言葉は、どれかな。					
もとめる	3 自分の主張の理由を考える。【個人→グループ】	10	○同じ意見の人と集まって作戦会議をしましょう。	・作戦会議のルールとして、「自分が説明できるまで聞く」ように伝える。	
ふかめる	3 全体で話し合う。【一斉】	20	○えっちゃんの怒っている気持ちが1番伝わるのは、どの台詞ですか。 ◇「おこっている」って書いてあるから②だよ。 ◇大男が最後にしぼんでいるから③だと思う。 ◇えっちゃんが一番大男に言いたいのは「大事な帽子を返して」だから。	・グループの友だちが言ったことを発表することも認める。 ・考えが②に偏ったときには、本文の字の太さに着目させ、改めて考えさせる。  ・意見が割れ続けた場合は、えっちゃんが怒っている理由を再度振り返らせ、一番伝えたいことを考えさせる。	
	まとめ 「あたしのぼうしをかえしなさい。」 ぜったいにぼうしをかえしてほしいえっちゃんの気持ちが伝わるように読む。				
	4 読み方を考える。【一斉】		○読むときには、どんな工夫ができるかな。 ◇大男の目を見る。 ◇しんけんな顔をする。	・子どもから出た動作化などを全体で共有する。	
まとめる	5 本時を振り返る。【一斉】	5	○えっちゃんの気持ちが伝わるように読みましょう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>B基準</b>（行動・発言）                      えっちゃんの怒り方の違いを文中の言葉から考えて音読することができる。                      〈B基準に満たない児童への手立て〉                      どの言葉が一番怒っているのかを明確に持たせて音読させる。                 </div>	